



Subaru

ニュース752 '21.2.25

男声合唱団

昂 3月よりレッスン再開！

2021年の合唱活動を元気に進めていきましょう！

□2021年新年1月早々、新型コロナ感染の勢いは止まらず、緊急事態宣言の状況下、残念ながら2月までレッスンの中止を行いました。2月21日に運営委員会をほぼ全員の運営委員の参加のもと、開催しました。いまだコロナの感染状況等、予断は許しませんが、3月よりレッスンを再開することを決めました。13回コンサートの再延期の苦渋の選択も行いました。

11月広島の全国うたごえ祭典、8月・9月開催予定の大阪の合唱発表会にむけて、元気に合唱活動を進めていきましょう！

昂団員並びに関係者の皆さんへ

2021年2月21日

昂 運営委員会

1月25日のお知らせにて、2月28日に運営委員会を開いて今後の対応を決めるとお知らせしましたが、この間の状況の変化を受けて、本日21日に運営委員会を繰り上げ開催し、今後の方針を決定しましたのでご報告します。様々な意見が出され、議論は3時間に及びました。

議論すべき点は主に以下の4点でした。

1. 6月に予定の第13回コンサートをどうするか
2. レッスンを何時から再開するか
3. 団内コンサートを何時にするか
4. 団の財政状況について

結論を簡潔に申し上げます。

1. 6月20日に予定の13回コンサートは、来年1月22日(土)に変更します。

会場は同じ豊中市文化芸術ホールです。このことにより会場使用料は流用してもらえるので新たな負担は発生しません。

2. レッスンはすべてのメニューを3月1日から再開します。

当面のスケジュールをここに載せますが、全体と詳細はホームページで確認してください。

- | | | |
|-----------------|-----------|--------|
| ・3月1日(月) 14:30～ | 中村教室① | ねむかホール |
| ・3月2日(火) 18:00～ | T2パートレッスン | 同上 |
| ・3月4日(木) 18:15～ | 千秋教室① | 同上 |
| ・3月5日(金) 13:45～ | 中村教室② | 同上 |
| 同 16:00～ | T1パートレッスン | 同上 |

- ・3月5日(金) 18:00～ 定例レッスン(班分け制) 同上
- ・3月19日(金) 18:00～ 定例レッスン(班分け制) 同上

なお、3月21日(日)のレッスンは全員での練習を予定しており、会場は“桃谷教会”を想定しており、現在打診中です。詳細は決まり次第またお知らせします。

8月1日に、南部地域合唱発表会(中央会館;長堀橋)の開催が決まっていますので、早急に昇演奏曲を決めて、練習に加えていく必要があります。

関連行事として、9月12日(日)大阪合唱発表会(LICはびきの)

9月23日(木・祝)創作・小編成・交流発表会があります。

昇は、南部合発、LIC、及び9/23の創作合発に出演予定です。

3. 団内コンサートについて

団内コンサートは8月22日(日)に開催し、翌23日(月)に総会を開催することとします。

詳細は後日お知らせします。

4. 団財政については、現在コンサート収益が無いことから逼迫状況が続いていることが報告され、認識を共有しました。

来年1月にコンサートを開催すると決めましたが、現状の団費収入ではコンサートまでは、毎月4万円を超える赤字が見込まれます。赤字解消のため

の方策はいろいろありますが、財政措置については、総会決定事項でもあることから、議論を継続することとしました。

なお、休団中の指導者等への補償は、昨年と同様に、6割補償をさせていただきます。

以上ご了解いただきますようお願いいたします。

ピアニスト並びに指導者の皆様、どうかよろしくご理解・ご協力をお願いします。

3月からまた元気に思い切り歌いましょう。

ただ、コロナの感染者数は大阪府下でも減少傾向にありますが、近日中に非常事態宣言が解除されることとなれば、しばらくしてまた新たな感染拡大が起こりえます。くれぐれも油断なく毎日を過ごされることをお願いします。

定例レッスン 参加者割り振り表(案) 2021年1月

パート	3月5日(金)	3月19日(金)	3月21日(日)
T1	千秋	吉岡	全 員 レ ッ ス ン ・ 会 場 は 調 整 中 候 補 ・ 桃 谷 教 会 14 時 か ら
	鈴木	吉田	
	立川	山本	
	小西	若園	
T2	大島	大島	
	更家	更家	
	中谷	中谷	
	米川	米川	
	伊藤	伊藤	
BR	奥村	大橋	
	岩崎	向井	
	春木谷	仲谷	
	吉川	奥村	
	山口	(山口)	
BS	岡邑	岡邑	
	川妻	川妻	
	光本	光本	
	はが	はが	
	東尾	東尾	

□参考までに、1月・2月のレッスン中止を決めた運営委員会の報告も掲載します。

コロナ緊急事態宣言に伴い、残念ながら 昴1月に引き続き2月のレッスン等休止！

昴団員並びに関係者の皆様

2021年1月25日

男声合唱団 昴 団長 千秋昌弘

緊急事態宣言が出されている中で、大阪府をはじめ近隣府県でも相変わらず新型コロナウイルス感染者の発生数が高止まりするという厳しい状況が続いていますが、皆さんお元気ですか。

当面の「宣言」期限が近づいてきているので、昨日、LINE運営委員会を開きました。全員が大きな懸念を未だ拭うことができないという思いを共有することとなりました。

誠に残念ですが、2月末までレッスン等の活動の休止を継続いたします。

ただし、「宣言」の動向には引き続き注意するとともに、状況が変化すればその都度活動の再開について検討することとします。

更に、状況が許せば、下記により運営委員会を開催し、コンサートについて協議することといたします。運営委員の皆さんは極力ご参集ください。

記

昴運営委員会

2月28日(日)午後1時 会場 ねむかホール

くれぐれも感染しないよう、十分な注意のもと生活されますように。

メールの届かぬメンバーへのご連絡をお願いします。

□1月レッスンの休止について

2021年1月11日

皆様

男声合唱団「昴」運営委員会

新しい年が始まったとたんに、新型コロナウイルス感染が一層広がるという残念な状況に、大阪府域はもとより日本国中が陥っています。

ご承知の通り大阪府域では、急激な感染者増が見られ、医療現場からは、もっと早期に対応をするべきだったとの批判が出てきています。大阪府は緊急事態宣言の発出を国に求めるも、動きの鈍い国の対応に対して、14日から25日間の府独自の緊急事態宣言を出すことを表明しました。

今日のニュースでは国も大阪府等に宣言を出すことを決めたようですが、いずれにしても大変重大な事態に立ち至っています。

昴運営委員会として、本日、朝からLINE会議により各自意見を出し合い、今後の対応について協議いたしました。全員一致の見解として以下の通り決定しましたのでお知らせします。

○1月のレッスン等をすべて中止します。

○2月7日予定の団内コンサートを延期します。現時点で次の日程は定められません。

○2月からのレッスン等の活動については、再び1月末に判断いたします。

誠に残念なことです、以上のように決しました。

感染源不明者の割合が60%を超えてきています。これから高齢者への感染拡大も大きくなるとの専門家の指摘もあります。医療体制は逼迫しているとの厳しい現実があります。

油断せず、日常生活でも万全の感染防止対策に努めていただきますようお願いいたします。

メールの届かないメンバーへの対応をよろしく申し上げます。

※ 12月28日、当時の感染推移状況に基く運営委員会討議と昴3役の判断で、1月から昴のすべてのレッスンを再開し、1/11に改めて判断するとしておりました。

年明け後の新たな新規感染者急拡大に伴う諸般の状況について討議した結果、上記通り、すべての1月度レッスン休止と2/7団内コンサートの延期を決めたところです。

□ 2021年1月22日「核兵器禁止条約(核禁条約)」批准国50国を越え、発効される！
「核兵器なき世界の実現へ！」

2021年1月20日(水曜日)



関西合唱団青年部
赤井早和子さん(37)

平和の願いを歌声に

「核兵器禁止条約は、筋の光です」
22日の発効を前に、関西合唱団青年部「Peace & Amuse」の赤井早和子さん(37)は話し、西合唱団の発表会を見

「核兵器禁止条約は、筋の光です」
22日の発効を前に、関西合唱団青年部「Peace & Amuse」の赤井早和子さん(37)は話し、西合唱団の発表会を見

まず、合唱団員として、社会問題や平和への願いを歌声で伝えていきます。赤井さんが合唱活動を開始したのは2015年。知人に誘われて行った西合唱団の発表会を見

て、生声の力に魅せられ、若者も気軽に参加できるようにと発足した青年部で、立ち上げメンバーとして赤井さんも参加。最初はただただ合奏を楽しんで活動していたと話します。

被爆証言聞き
転機は17年。5月に合唱団で福島のコンサートに参加した赤井さんは、現地の住職から原発事故の話や聞き、放射能汚染の恐ろしさに触れます。

折しも、うたごえ運動70周年を翌年に控え、合唱団は平和をテーマに組曲を作っていました。青年部も歌作りに参加。8月に作曲家の先生と共に広島に行き、ある被爆者の女性から証言を聞き

「この方が最初に言った『原爆が落ちた』8月6日はずいぶんいい天気です。私もその思いを想い、言葉が忘れられませんが、何気ない日常の風景が、一発の原爆によって一瞬で地獄と化した理解できました」
その旅行の経験をもとに組曲「広島旅行」といふ曲が成りました。

思い継ぎたい
「何十年と口を閉ざしていたのが、自らの体験を語り始めたのは、広島がうたごえ運動との出会いがきっかけ。合唱に参加し、仲間と歌ごとを通して、もう二度と戦争を起さぬよう伝えたい。日本政府も批准するまで、世界が反対を押しつけてくれたらいい。日本政府も批准するまで、彼方ですが私も力になりたい。」(熊本県)

「政治は変えられる」

不拡散条約(NPT)で核保有が認められている米国、ロシア、中国、英国、フランスは核禁条約に否定的だ。核を保有するインド、パキスタン、北朝鮮なども加わる兆しはない。「核の傘」に安全保障を依存する日本や韓国、北大西洋条約機構(NATO)に加盟する30カ国も参加していない。

来月1月までに、条約を批准した国々による会議を開き、核兵器廃棄の期限や検証方法を話し合う。ウイーンでの開催が有力とみられ、日本が唯一の戦争被爆国としてオブザーバー参加するかどうか注目されている。

(ワシントン＝藤原学恵)

核禁条約 あす発効

2021.1.21

核兵器禁止条約(核禁条約)が22日に発効する。核兵器を非人道的で違法とする初めての国際条約で、開発や実験、保有を許さず、使用をちらつかせる威嚇も禁じる。核兵器なき世界の実現に向けて、賛同する国がどれだけ増えるかが今後の焦点となる。

核禁条約は2017年7月、122カ国・地域の賛成で採択された。前文では被爆者や核実験の被害者の苦痛に触れている。昨年10月に批准国・地域が条約の発効に必要な50に達し、先月にはアフリカのベナンが加わって51になった。

条約を批准していない国に對する法的拘束力はない。核

51カ国・地域 賛同国拡大焦点

不拡散条約(NPT)で核保有が認められている米国、ロシア、中国、英国、フランスは核禁条約に否定的だ。核を保有するインド、パキスタン、北朝鮮なども加わる兆しはない。「核の傘」に安全保障を依存する日本や韓国、北大西洋条約機構(NATO)に加盟する30カ国も参加していない。

来月1月までに、条約を批准した国々による会議を開き、核兵器廃棄の期限や検証方法を話し合う。ウイーンでの開催が有力とみられ、日本が唯一の戦争被爆国としてオブザーバー参加するかどうか注目されている。

(ワシントン＝藤原学恵)



▲藤後さん。2008年、合唱組曲「紫金草物語」中国南京公演で

私家版「私は八路軍の少年兵だった」出版

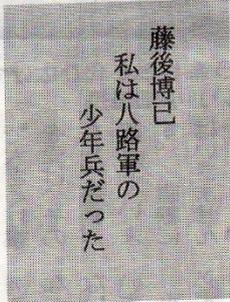
藤後博已さん

(日中友好協会大阪府連合会顧問
関西紫金草合唱団名誉団長)

昨年、新型コロナウイルスの蔓延、米中対立の激化、香港の混乱、安倍首相の退陣、とめまぐるしい変化が続いた年でもあったと申すほかありません。このような年だっただけに、早く新しい年をと念ずる気持ちもひとしおのものがありました。やはり行く年はなぜか惜しむ心持ちもありません。



戦争中、日本が植民地支配した旧満州（現、中国東北部）に、『滿蒙开拓青少年義勇軍』として赴いた藤後博已さん（91歳）。「国策で送られ、加害者にさせられ、敗戦で国に捨てられ、多くが寒さと飢えで命を落とした」。藤後さんは、敗戦後、中国共産党八路軍に入隊（帰国は戦後10年後）。数奇な体験と、二度と戦争を繰り返さないためにと出版した想いが寄せられた。



藤後博已
私は八路軍の少年兵だった

いまま、これまでの人生をふりかえってみますと、長くも、短いようにも思えます。そのなかで、中国で思春期を過ごした私は、中国は第二の故郷であり、郷愁の地でもあります。私にとりて、中国は決して忘れることのできない存在です。

戦争を知らない世代に伝えたい

春期を過ごした私は、中国は第二の故郷であり、郷愁の地でもあります。私にとりて、中国は決して忘れることのできない存在です。



▲紫金草合唱団が南京理工大学へピアノ贈呈（08年）

この方々、とりわけ戦争を知らない世代に伝え、歴史として継承いただきたいと念願して、一人の戦争体験をもとに、私の26年史に託してこの本を書きました。内容としては戦争を憎み、恒久平和を願う私の思いが凝縮されています。執筆当初は従軍記のようなものと思っていました。が、それでは私が旧満州に行った謂れや、私にとって人生を大きく変えさせた敗戦直後の満州の様相を解って頂きたいという思惑もあって、私が歩んできた人生の一部（出生から中国より祖国帰還まで）の記録、自分史的なものにしました。

軍)で多くの中国人と生活した7年間というものは、自分の人生にとって得がたい体験であり、また私の生き方を大きく変遷なざしめたのも紛れもない真実の一端でもあると思うのです。私は定年退職後に私のこの稀有な体験を多

一部の政治家や評論家の歴史認識の危うさに黙ってられないもどかしさと、激しい怒りを覚えるのです。如何せん、内容がずいぶん昔のことであり、記憶違いは避けられず、試行錯誤を繰り返しながらやっと完成させて、菲才を省みず出版に踏み切りました。こ

「私は八路軍の少年兵だった」119
2019年5月
5年。I「私は戦争の申し子だった」、II「滿蒙开拓青少年義勇軍」、III「私の敗戦前後」、IV「八路軍の日本人」。制作協力金千円。☎584-0045 富田林山中田町1-13-30 ☎&FAX 0721-2534882。✉ tougohiron@ yahoo.co.jp